別表　海外で注意しなければいけない感染症(平成25年4月)

主な感染源	注意すべき病気	主な発生地域	滞在地域				予防方法		主な症状		
			リゾート観光地	都市部	地方の町や村	森林･原野	その他	予防接種	発熱	下痢	その他
食べ物 水	★ E型肝炎	世界各地	●	●	●	●	十分火の通った食べ物を食べる 生肉は食べない		●		倦怠感、黄疸（体の皮膚や白目が黄色になる）
	★ A型肝炎	発展途上地域	●	●	●		十分火の通った食べ物を食べる 生水は飲まないようにする	●	●		倦怠感、黄疸（体の皮膚や白目が黄色になる）
	★ 赤痢	発展途上地域	●	●	●				●	● ときに血便	激しい腹痛
	★ 腸チフス	発展途上地域	●	●	●				● 持続する高熱	●	倦怠感、比較的徐脈 （高熱なのに比較的脈が遅い）
	★ コレラ	発展途上地域	●	●	●					● 大量の水様	嘔吐 下痢による脱水
	★ ノロウイルス	世界各地	●	●	●		十分火の通った食べ物を食べる 二次感染に注意する		●	●	激しい嘔吐、下痢
	★ 消化管寄生虫症	世界各地		○	●		こまめな手洗い 十分火の通った食べ物を食べる		●	○	
事故・ケガ	★ 破傷風	世界各地	○	○	○	○	転倒やケガに注意する	●			飲み込みにくい、しゃべりにくい、全身けいれん
蚊	★ マラリア	熱帯・亜熱帯地域（アジア、アフリカ、中南米）	○	○	● 夜間	● 夜間	夜間外出を控える 蚊帳の使用虫除けローションの使用 長袖･長ズボンの着用	予防薬（飲み薬）	● 高熱･周期的	○	悪寒, 冷汗 頭痛,筋肉痛 意識障害
	★ デング熱	熱帯・亜熱帯地域（アジア、オセアニア、アフリカ、中南米）	● 昼間	● 昼間	○ 昼間		虫除けローションの使用 室内での蚊取り線香の使用など		●高熱		目の奥の痛み 筋肉･関節痛、発疹
	■ 日本脳炎	アジア		●	●		虫除けローションの使用 予防接種を実施する	●	● 高熱		昏睡（痛みや刺激に反応しない） 意識障害、頭痛
	■ 黄熱	アフリカ 南アメリカ			● 昼間	● 昼間	虫除けローションの使用 長袖・長ズボンの着用	● 発生地域では必須	● 高熱		頭痛、筋肉痛 悪寒、嘔吐
	■ ウエストナイル熱	北アメリカ アフリカ 中東アジア	●	●	●	●			●		頭痛、筋肉痛、倦怠感
	■ チクングニア熱	東南アジア 南アジア アフリカ	● 昼間	● 昼間	● 昼間	●			● 高熱		頭痛、筋肉痛 倦怠感、発疹 関節痛、関節のはれ
動物	■ 狂犬病	世界各地	◆	◆	◆	◆	むやみに動物に触らない 予め狂犬病ワクチン接種を受ける 犬等からの咬傷後、ワクチン等による治療	●	●		治癒した受傷部の痛み 知覚過敏 恐水・恐風症状
	■ 鳥インフルエンザ	東南アジア			●		農家、市場、動物園などの鳥類との接触を避ける。手洗い、うがい		●	○	呼吸器症状
人	★麻しん	世界各地 (特にアジア・アフリカ)	●	●	●			●（MRワクチン）	● 高熱	○ 乳幼児では多い	咳、鼻水、結膜充血、発疹
	★風しん	世界各地 (特にアジア・アフリカ)	●	●	●			●（MRワクチン）	●		発疹、リンパ節腫脹
	■ポリオ	南アジア・アフリカ等		○	○		手洗いの実施	●	●	○	麻痺
沼や湖河川	■ レプトスピラ症	世界各地			●		淡水（川や湖）での水浴びを控える		●		悪寒、頭痛、筋痛 腹痛、結膜充血
	■住血吸虫症	アジア(揚子江)，アフリカ(ナイル川)，中南米など			○	○			○	○	下痢(血性）、肝臓、脾臓の腫れ

★：最も注意をしなければいけない病気
■：渡航先、活動内容によって注意しなければいけない病気

●：感染する機会が多いので十分に注意
○：感染する機会は少ないが注意が必要
◆：動物と接触する機会の多い場合には十分に注意

●：ワクチンにより予防できる
※予防接種は、渡航期間、地域、活動内容により、医師と相談の上考慮する。

●：よくみられる症状
○：ときにみられる症状